

ビジネス コミュニケーションシステム

品名 **スモールオフィス テレホンシステム 308J**

概要

本装置は、一般公衆電話回線（アナログ局線）構内交換機の内線に接続できる、高性能・高品質の小規模構内向けアナログボタン電話装置です。主装置は、外線/内線や外部機器等の接続用端子（ポート）を搭載しており、IP電話サービスの利用¹による通信コスト削減や、セキュリティ関連商品（ネットワークカメラ・TVドアホン・玄関子機等）との接続、VoIP技術を利用した社内LANの構築などを容易に実現できます。

また、ナンバーディスプレイ対応機能や増設機器への対応機能をもつ、各種専用ユニットを主装置内部に組込むことにより、システム機能の拡張や外線収容数の増設を図ることができます。

《外線収容数と電話機収容台数》

システムサイズ	外線収容数	電話機収容台数	備 考
	アナログ局線	多機能電話機・単独電話機	
308	3	8	多機能電話機・単独電話機は混在可能 (ハイブリッド方式)
616 ²	6	16	

1 IP電話サービス提供会社とのサービス契約、およびプロバイダとの契約が必要です（共に有料です）。

2 308拡張ユニット（XF-A130）の本体装着が必要です。

特長 1

(1) 着信機能

着信鳴動指定

内線電話機ごとに、外線から入る電話を着信するか、しないか選択できます。

着信鳴り分け

外線/内線の電話番号ごと、玄関子機からの呼出ごとに着信音（着信パターン）を設定できます。

DIL（個別外線着信）

外線からの電話を特定の内線電話機のみに着信させることができます。昼間・夜間・ランチ時ごとに異なる着信先を指定できます（外線着信モード機能、夜間切替機能）。

概要/特長 1

品番	
品名	スモールオフィステレホンシステム308J

特長 2

内線グループ

ハンティング・グループ、DID呼出グループ、ACDグループなど、特定の条件ごとに複数端末を内線グループとしてシステムに登録できます（最大8グループまで）。内線着信に対して、グループ内のどの端末からでも着信できるほか（グループ代理応答）、どの内線からでも他の内線グループの端末を音声で呼出すことができる（一斉呼出グループ）ようになります。

内線代表

着信側の内線が話中の場合、あらかじめ登録された内線グループの番号を元に、空き内線を探します。空き内線を探す方法には、サーキュラーハンティング（内線グループ番号順に一度だけ巡回検索し、全話中の場合に話中音を流す）、ターミナルハンティング（着信した電話機の内線端子番号から昇順で検索し、全話中の場合に話中音を流す）の2種類があります。

DID（ダイレクトインダイヤル）

外線からの発信者がシステムを経由することで、内線電話機と同様に外線/内線の発着信ができます。外線からの発信者が利用できる機能は、内線/内線グループ/指定電話機への通話、DIDオートアテンダント番号（AA番号、1桁）を使用した内線ダイヤル、外線への通話等です。

ACD（均等着信）

外線から入る電話を、ACDグループとして登録した内線グループに分配着信させることができます。特定の内線に電話が集中する事業所・部署等で有効な機能です。

DID着信不応答時着信切替

DID、もしくはACD（均等着信）機能を利用し、外線から入る電話の着信先を自動的に切り替えることができます。着信先を切り替えるタイミングは、「ツッ」音の後や応答メッセージ送出中に発信者が何もダイヤルしない（もしくは誤ダイヤルした）場合（本機能動作はDID機能利用時のみ）、あらかじめ設定された時間内に応答が無かった場合、どちらかの条件に該当した時です。

着信自動応答

多機能電話機のボタン操作を行わなくても、受話器を取る（オフフック状態にする）だけで、外線/内線からの電話に応答できます。スピーカーホンボタンが搭載されている多機能電話機の場合は、内線/外線ボタン（速点滅時）を押すと、受話器を取らなくても着信応答・通話ができます。

特長 2

品 番

品 名

スモールオフィステレホンシステム308J

特長 3

外線着信応答

内線端末に多機能電話機を使用している場合、外線から入る電話の着信方法を、なし/指定/ベルの3方法の中から、選択できます。

応答方法	
外線着信応答(なし)	外線から入る電話に応答する場合、受話器を取った(オフフック状態にした)後、点滅中の外線ボタンを押します。
外線着信応答(指定)	外線から複数の電話が同時に入った場合、受話器を取る(オフフック状態にする)だけで、受けたい電話に応答できます。
外線着信応答(ベル)	外線から入る電話を着信した場合、呼出音が鳴っている電話機の受話器を取る(オフフック状態にする)と応答できます。

代理応答

内線電話機への着信に対し、他の内線電話機から代理で応答することができます。代理応答機能には、内線グループ内の着信に代理応答する(グループ代理応答)、留守番電話機への着信に代理応答する(留守番電話応答)、代理応答を不可にする(代理応答操作規制)の3種類があります。

- 1 代理応答操作規制を設定している電話機に着信が入った場合、他の電話機で代理応答しようとする、警告音がなり機能動作を行いません。

話中時着信

通話中に他の電話(玄関子機からの呼出・内線呼出含む)が入ると、着信側に話中時着信音で知らせることができます。着信側は、通話中の電話を切断、もしくは保留にした後、他の電話に応答できます。

(2) 発信者番号通知/着信履歴機能²

発信者番号通知

外線からの電話が入ると、多機能電話機の液晶表示部に発信者の電話番号等を表示することができます。

着信履歴

多機能電話機1台につき20件、システム全体で300件の着信履歴を保存することができます。

- 2 本機能の利用には、NTT東日本・NTT西日本への「ナンバー・ディスプレイ」サービス申し込み(有料)が必要です。また、発信者番号受信カード(XF-A162)の本体装着が必要です。

発信者の電話番号が通知されない場合、液晶表示部に該当理由が表示されます(「コウシュウデンワ」「ヒツウチ」「ヒョウジケンガイ」等)。

特長 3

品番

品名

スモールオフィステレホンシステム308J

特長 4

(3) 外線通話機能

外線発信

「局線自動捕捉」、「指定外線捕捉」、「自動選局発信」の3方法の中から、外線の発信方法を選択できます。

局線自動捕捉	内線電話機の空外線捕捉ボタン(多機能電話機のFFキーボタン等)を押すと、空外線を自動的に捕捉します。 ³
指定外線捕捉	多機能電話機で、COボタンに登録されている外線ボタンを押すと、登録先の外線を捕捉します。
指定外線捕捉	内線電話機の操作で外線グループを指定し、空き外線を捕捉します。 ³

3 多機能電話機の場合、発信プリファランス機能が設定されていると、受話器を取る(オフフック状態にする)だけで空外線を捕捉できます。

自動選局発信

内線電話機のダイヤルボタン「0」と「9」を、自動選局番号(0、または9)として利用できます。外線に電話をかける際、自動選局番号をダイヤルすると、空き回線を外線番号の若番順で自動的に捕捉します。

発信プリファレンス⁴

内線電話機に多機能電話機を使用している場合、外線への発信方法を、アイドル/指定/なしの3方法の中から、選択できます。

応答方法	
発信プリファレンス(アイドル)	受話器を取る(オフフック状態にする)だけで、空外線を補足します。
発信プリファレンス(指定)	受話器を取る(オフフック状態にする)と、あらかじめ指定された外線を補足します。
発信プリファレンス(なし)	受話器を取った(オフフック状態にした)後、内線電話機のボタン操作により外線を選択・捕捉します。

4 あらかじめ外線ボタン(COボタン、グループボタン、Other COボタン)に登録する必要があります。

特定ダイヤル発信規制解除

あらかじめ登録された特定ダイヤル(緊急発信ダイヤル、最大5件)を使用すると、発信規制機能の有無に関係なく発信・通話ができます。

アカウントコード

外線の発着信時に使用する、アカウントコード(任意の番号、4桁)を登録できます。外線発信規制の解除等に使用します。

長時間通話制限

あらかじめ登録した制限時間が経過すると、外線 - 外線通話を自動的に切断します(外線への不在転送、外線への通話転送、もしくはDID機能を利用した外線 - 外線通話)。制限時間の15秒前になると、発信側・着信側双方に対し、アラーム音を送出します。

自動ポーズ

本システムを、構内交換機に接続することができます(構内交換機の接続ラインを本システムの外線に接続してください)。

特長 4

品番	
品名	スモールオフィステレホンシステム308J

特長 5

(4) 内線通話機能

内線自動応答

多機能電話機を使用している場合、「自動応答/ミュート」ボタンを押すと、受話器を取らなくても内線通話に応答できます。

オペレ - タ内線呼出

あらかじめ登録した機能番号をダイヤルすると、内線電話機からシステム内のオペレータ内線を呼出することができます。オペレータ内線には、任意の内線を指定できます。

玄関子機接続（オプション）⁵

玄関子機からの呼出に内線電話機から対応したり、内線電話機から電気錠の施錠・解錠操作ができます。

5 ドアホンカード（XF-A160）の本体装着、および玄関子機（VL-568KA）の接続が必要です。

内線ルームモニター

部屋内や玄関ドアの様子を多機能電話機や玄関子機を利用してモニターできます。

(5) 一斉呼出機能

一斉呼出（構内放送）

内線から音声で一斉に他の内線を呼出することができます。音声は、多機能電話機の内蔵スピーカー、校内放送用スピーカーから送出されます。呼出された人は、システム内のどの内線端末からでも応答することができます。

一斉呼出	全内線に、多機能電話機のスピーカーを通して、一斉呼出を行います。
グループ呼出	指定した内線グループのみに、多機能電話機の内蔵スピーカーを通して一斉呼出を行います。
構内放送用スピーカー	構内放送用スピーカーに呼出を行います。
構内放送	全内線の多機能電話機の内蔵スピーカーと構内放送用スピーカーから一斉呼出を行います。

(6) ワンタッチ/短縮/再ダイヤル機能

共通短縮ダイヤル

システム内の内線電話機が共通で利用できる共通短縮ダイヤル（電話番号/名前、最大32桁）を100件まで登録できます。共通短縮ダイヤルに名前を登録していると、電話の発着信時、液晶表示部に相手の電話番号と名前を表示することができます。

個人短縮ダイヤル

内線電話機のダイヤルボタン「0～9」に各1件ずつ、計10件の短縮番号（内線番号、電話番号、機能番号、それぞれ最大24桁）を登録できます。「」とダイヤルしてから、短縮番号の登録されたダイヤルボタンを押すと、発信します。短縮番号は、内線電話機ごとに異なる内容を登録できます。

特長 5

品 番

品 名

スモールオフィステレホンシステム308J

特長 6

再ダイヤル

内線電話機に多機能電話機を使用している場合、再ダイヤル機能（ラストナンバーリダイヤル、セーブナンバーリダイヤル）が利用できます。

ラストナンバーリダイヤル	最後にかけた電話番号を自動的に記録します。
セーブナンバーリダイヤル	外線通話時、多機能電話機のセーブボタン（FFキーボタン、取付時設定が必要）を押すと、通話中の相手の電話番号をセーブボタンに再ダイヤル番号として登録できます。

(7) 保留機能

保留

外線/内線から入る電話は、すべて保留することができます⁶。保留した電話は、システム内にあるどの内線電話機を使用しても、応答可能です。

6 内線電話機に単独電話機を使用している場合、一度に保留できる電話は、外線/内線どちらか1通話のみです。2通話以上を保留する場合は、下記「パーク保留」機能を利用してください。

フッキング保留

内線電話機が単独電話機の場合に行う、通話転送時の一時保留や通話保留のためのフッキング操作です⁷。

7 フッキング操作は、あらかじめ設定された一定時間内に行うことが必要です。一定時間が経過すると、通話が切断されますので、ご注意ください。

パーク保留

システムに入る電話（外線/内線ともに含む）を、同時に10通話まで保留することができます。保留した電話は、システム内にあるどの内線電話機を使用しても、応答可能です。

内線交互通話（ブローカーズホールド）

同時に2カ所の相手先と通話ができます。通話中に他の着信が入った場合、通話中の相手を保留にした後、他の着信の相手と通話ができます⁸。

8 玄関子機からの呼出し、一斉呼出（構内放送）、会議通話による通話時は、本機能は利用できません。

特長 6

品番	
品名	スモールオフィステレホンシステム308J

特長 7**(8) 不在転送/不在設定機能****不在転送**

電話を着信すると、あらかじめ登録した他の内線電話機、もしくは携帯電話やPHS等に自動転送させることができます。

不在設定

離席する際、内線電話機に不在設定を行うと、外線・内線ともに着信しなくなります。ただし、あらかじめ設定された特定の電話機からの内線呼出の場合は着信します。

(9) 会議通話機能**会議通話**

通話中に他者を加えて、複数端末間（最大5者）で通話することができます。 9

9 1組の会議通話に参加できる外線は、最大2回線です。また、複数の会議通話を同時に行うことはできません。

会議通話中は、外線 - 外線通話確認モードの設定、通話割り込み機能、会議通話中の参加者以外からのパーク保留機能については、利用できません。

(10) 相手側話中時機能**外線/外線コールバック**

外線発信の相手側が話中、もしくは選択・捕捉した外線が使用中だった場合、回線が空き状態になると発信者に自動的にコールバックして知らせます。コールバックに回答すると、外/外線へ自動的に発信します。

通話割り込み

通話中の外線・内線に割り込んで通話することができます。また、他の内線からの通話割り込みを拒否するよう、あらかじめ設定しておくこともできます。

話中時着信音鳴動

外線電話をかけた相手が話中の場合、相手の電話機に話中時着信音を送出し、他の内線から呼出されていることを知らせます。

メッセージウェイト 10

外線電話をかけた相手が話中、もしくは未応答の場合、相手側電話機のメッセージボタンを点灯（メッセージランプ赤点灯）させて、呼出されていることを知らせます。

10 相手側電話機が多機能電話機の場合のみ利用できます。

特長 7

品番

品名

スモールオフィステレホンシステム308J

特長 8**(11) ACR/回線選択制御機能**

ACR/回線選択制御

外線で長距離通話を行う際、最安の料金経路を自動的に選択します。

(12) 発信規制機能

ステーションロック

内線電話機の機能動作をアカウントコード（任意の番号、4桁）でロックし、ロックを解除するまで電話機から外線発信できないようにします。

(13) その他機能

アラーム

あらかじめ設定した時刻になると、内線にアラーム音を送出します。オペレータ内線や指定電話機からは、特定内線のアラーム設定（アラーム時刻の設定/取り消し/確認）を遠隔操作できます（リモートアラーム、モーニングコール機能）。

スピーカーホン通話

多機能電話機のスピーカーホンボタン、もしくは内線/外線ボタン（速点滅時）を押すと、受話器を取らなくても、電話の発着信（通話）ができます。

マイクミュートキー

多機能電話機でのスピーカーホン通話時、マイクをオフにして自分の声を相手側に聞こえないようにすることができます。

ヘッドセットモード

多機能電話機のヘッドセットジャックに、市販のヘッドセットを接続できます。

データ通信秘話

内線端子にパソコンやFAXを接続しデータ通信を行う場合でも、話中時着信や通話割り込み等の機能動作の影響を受けません。データ通信時は、話中時着信音や保留再呼出音、アラーム音を送出せず、操作を中断する必要がありません。

停電時カットスルー 11

停電時等でも、単独電話機から外線発信ができます。

11 内線電話機に単独電話機を使用している場合のみ対応できます。また、外付けバッテリー変換ケーブル（XF-A196）の本体装着、および外付けバッテリー/外付けバッテリーケース（VB-E297/VB-2450A-2）の接続が必要です。

FAX自動転送（オプション） 12

FAX専用の電話番号を用意しなくても、FAXを受信すると自動的にFAXからデータを出力します。

12 外部送出メッセージユニット（XF-A161）の本体装着、およびFAXの接続が必要です。

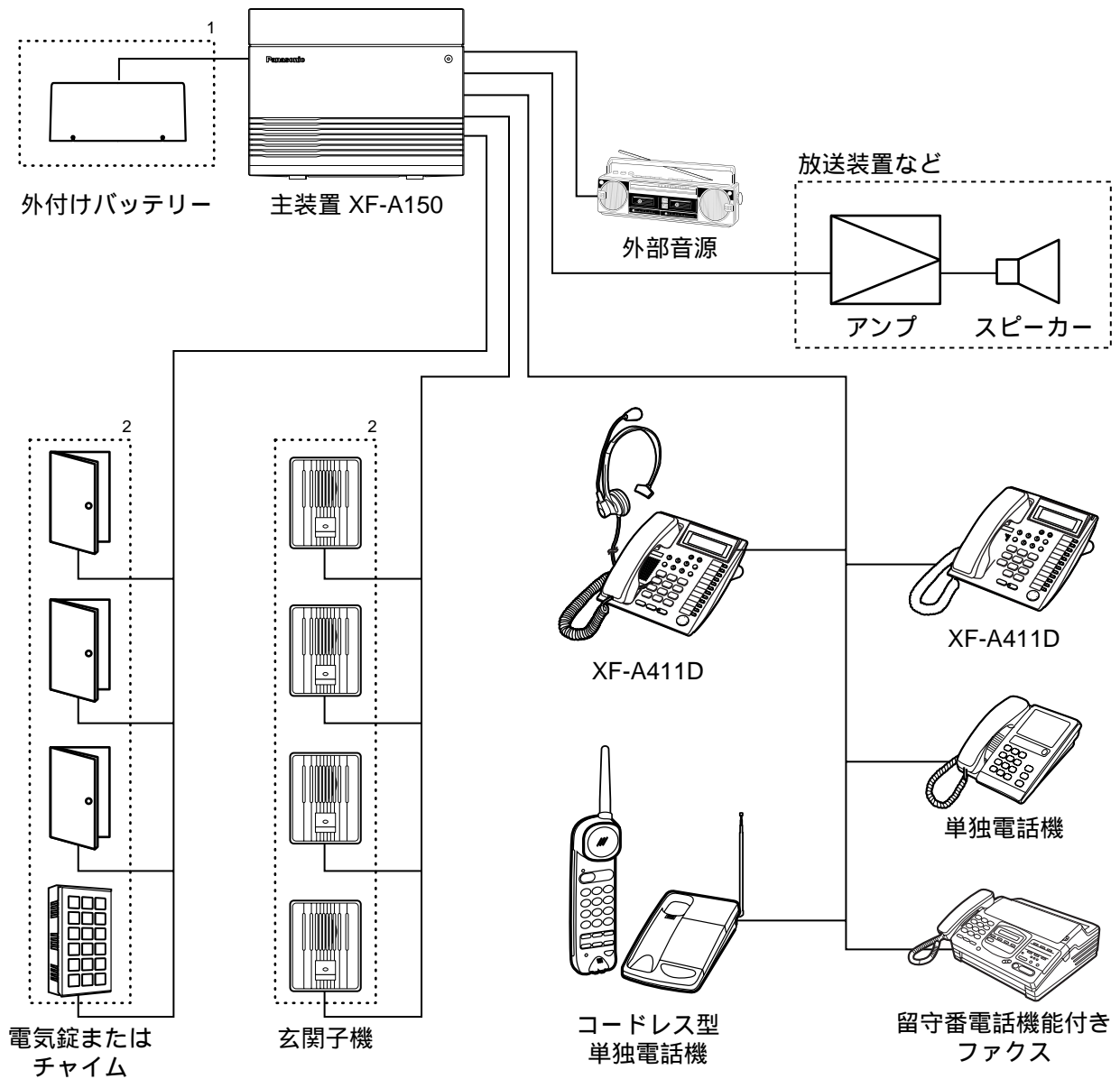
特長 8

品 番

品 名

スモールオフィステレホンシステム308J

システム構成図 1



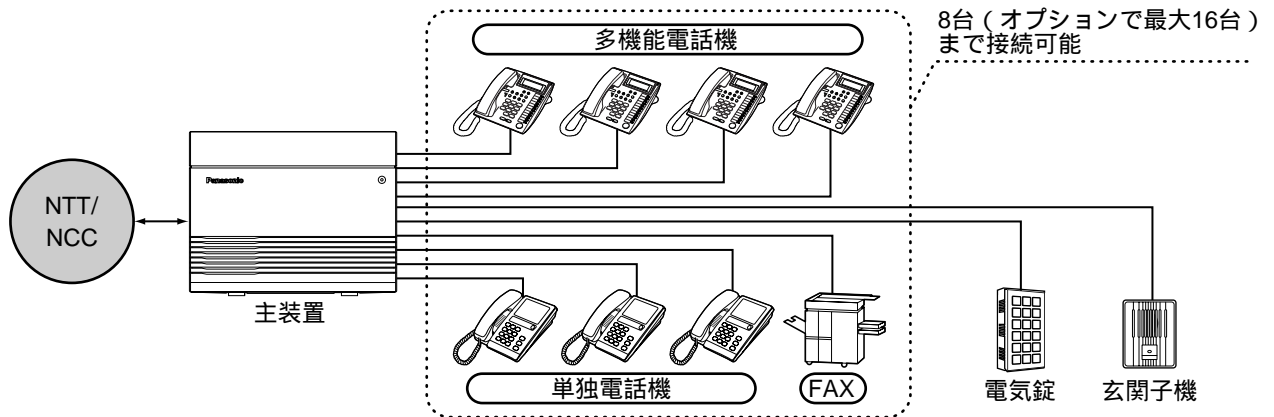
- 1 オプションの「外付けバッテリー」、「外付けバッテリーケース」、「外付けバッテリー用変換ケーブル」が必要です。
- 2 オプションの「ドアホンカード」が必要です。

システム構成図 1

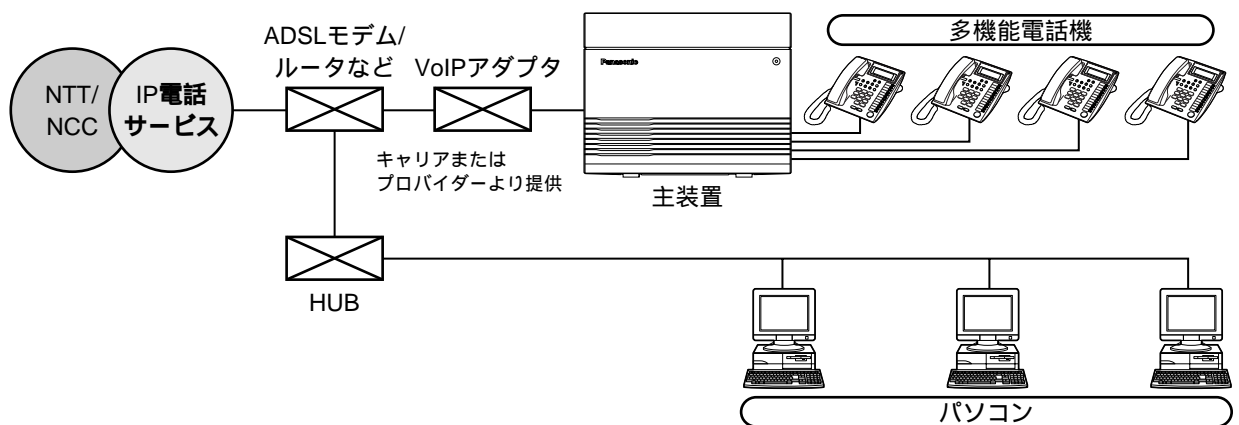
品番	
品名	スモールオフィステレホンシステム308J

システム構成図 2

【システム構成例】(一般電話回線を利用した場合)



【システム構成例】(IP電話サービスを利用した場合)



システム構成図 2

品番	
品名	スモールオフィステレホンシステム308J

機器構成

品名	品番	容量	備考	
主装置	XF-A150	1	初実装308	
多機能電話機	XF-A411D	16	308J用12キーカナ表示対応 (12フレキシブルCOキー、FFボタン) 液晶表示部：1行×16文字・カタカナ表示	
オプション	3外線8内線拡張カード	XF-A130	1	616システム拡張時に必要
	ドアホンユニット	XF-A160	1	玄関子機(VL-568KA)、電気錠を最大4台 接続可能
	外部送出メッセージユニット	XF-A161	1	発信者応答案内(OGM)、FAX検知時、ACD (均等着信)機能使用時に必要
	発信者番号受信ユニット	XF-A162	2	ナンバーディスプレイ対応時に必要、3回 線以上の場合には2枚必要
	外付バッテリー用変換ケーブル	XF-A196	1	外付けバッテリー/外付けバッテリーケー ス(VB-E297/VB-2450A-2)と接続
	外付バッテリー	VB-2450A-2	1	5時間バックアップ
	外付バッテリーケース	VB-E297	1	外付けバッテリー使用時に必要

仕様 1

項目	仕様	備考
システム収容数	外線数：3(6：3外線8内線拡張カード装着時) 内線数：8(16：3外線8内線拡張カード装着時)	
制御方法	CPU：16ビットCPU 制御ROM：4Mbit、制御RAM：1Mbit	
通話路交換方式	空間分割方式	
電源	AC100V±10V 50/60Hz	
ダイヤル方式	パルス方式：10pps、20pps トーン方式：DTMF-DP	
内線通話路	4通話路	
コネクタ	外線：2芯モジュラーケーブル(RJ11) 内線/ドアホン：4芯モジュラーケーブル 構内放送用スピーカー/外部音源：EIAJRC-6701A (2芯、直径3.5mm)	
内線接続ケーブル	多機能電話機(XF-A411D)：2線ケーブル(T、R、H、L) 単独電話機：単線ケーブル(T、R)	
電話配線許容線路抵抗	多機能電話機(XF-A411D)：40 単独電話機：600(セットを含む) ドアホン：20	
1内線端子あたりの 電話機接続可能台数	1台：多機能電話機(XF-A411D)または単独電話機	
ベル電圧	80Vrms/20Hz(ベル負荷に依存する)	
外線許容線路抵抗	1600	
主装置使用環境	周囲温度：0～40 相対湿度：90%以下(ただし結露しないこと)	
フッキング信号送出時間	80msec～1200msec	

機器構成/仕様 1

品番	
品名	スモールオフィステレホンシステム308J

仕様 2

項目	仕様	備考	
回線・端子・オプションユニット・増設機器等	最大収容可能外線数	6 (XF-A130装着時)	初実装時は3
	内線端子数	16 (XF-A130装着時)	初実装時は8
	最大接続可能内線端末数	16	
	3外線8内線拡張カード (XF-A130)	1	
	外部送出メッセージユニット (XF-A161)	1	
	ドアホンユニット (XF-A160)	1	
	発信者番号受信ユニット (XF-A162)	2	
	玄関子機接続台数	最大4台	
	電気錠接続台数	最大4台	
	ドアベル/ドアチャイム接続台数	最大4台	
	構内放送用スピーカー (外部ページャ) 接続台数	最大1台	
	外部音源機器接続台数	最大1台	
	システムデータ	オペレータ内線	1
共通短縮ダイヤル		100	
ワンタッチダイヤル		12 (多機能電話機1台につき)	
個人短縮ダイヤル		10 (1内線につき)	
パーク保留エリア		10	
発信規制クラス		5	
内線グループ		8	
メッセージウエイト	8 (1内線につき)		

仕様 2

品番

品名

スモールオフィステレホンシステム308J

機能一覧

分類	機能	分類	機能
着信	着信鳴動指定	共通	不在転送
	ダイレクトインダイヤル (DID)		不在設定
	DIL		会議通話 (3者/5者)
	内線グループ		内線/外線コールバック
	内線代表		通話割り込み
	システム着信履歴 (200件) ()		話中時着信音
	個別着信履歴 (20件) ()		夜間切替
	着信自動応答		ワンタッチダイヤル
	外線着信応答		再ダイヤル (ラストナンバーリダイヤル、セーブナンバーリダイヤル)
	話中時着信		オートリピートダイヤル
	代理応答		共通短縮ダイヤル (100件)
	着信パターン設定 (外線、内線、ドアホン)		個人短縮ダイヤル (100件)
	発信		局線自動捕捉発信
指定外線捕捉発信		フッキング保留	
自動選局発信		フッキング	
発信プリファレンス		アラーム	
長時間通話制限		スピーカーホン通話	
自動ポーズ		マイクミュートキー	
PB信号変換		ヘッドセットモード	
極性反転検出		時刻設定	
発信規制		2カ国語表示	
内線	ACR/回線選択制御	その他	外部保留音源/BGM接続
	内線音声呼出/信号呼出		停電時カットスルー
	内線自動応答		音量調節
	内線ルーム音声モニター		ホットライン (単独電話機)
	一斉呼出 (構内放送)		ナンバーディスプレイ
	パーク保留		玄関子機接続
	内線交互通話		電気錠接続
外線	内線転送	その他	ドアベル/ドアチャイム接続
	メッセージウェイト		DID応答メッセージ/均等着信応答メッセージ
	外線転送		DID着信不応答時着信切替
		ン	ACD (均等着信)

() 不応答だった着信履歴と応答した着信履歴を両方残すこともできます。

機能一覧

品番	
品名	スモールオフィステレホンシステム308J